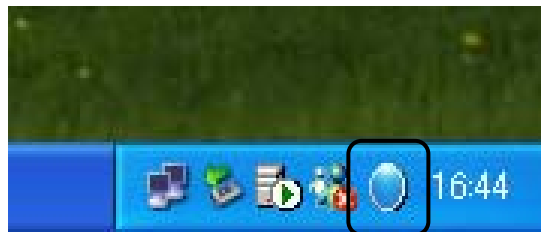


ウイルスセキュリティと Microsoft Access の併用で 不具合（青画面、再起動）が出る場合の対処

タスクトレイから『ウイルスセキュリティ』のアイコンをダブルクリックします。



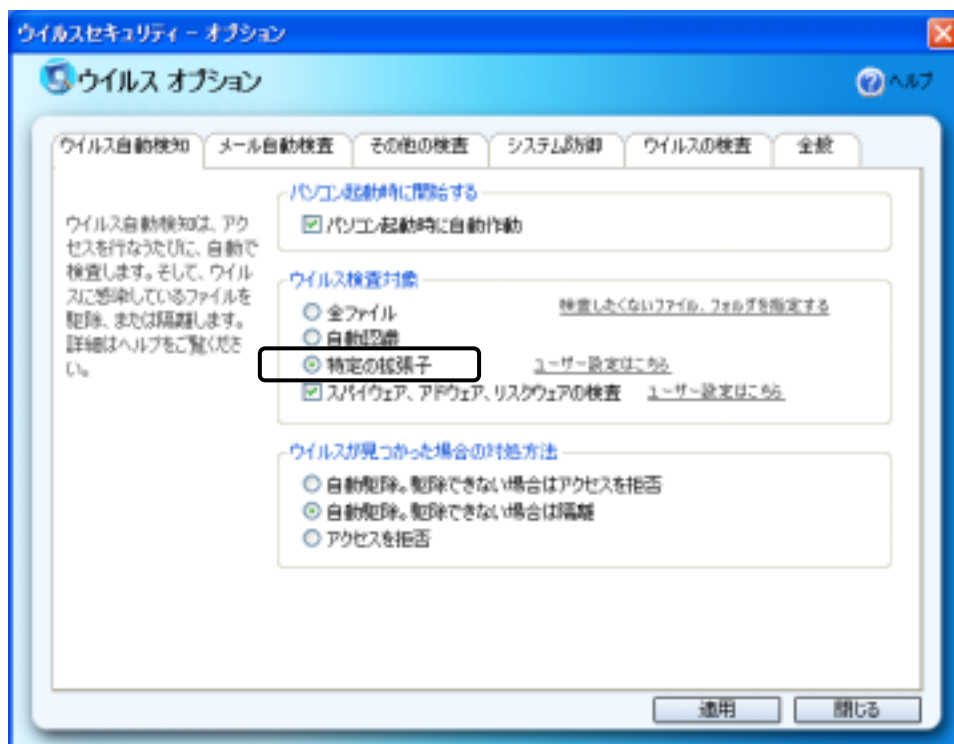
『ウイルスセキュリティ』のメニューが起動します。[ウイルスとスパイウェアから守る]をクリックしてください。



次の画面が表示されます。画面右下の [設定] ボタンを押してください。



「ウイルスオプション」画面が表示されます。ウイルス検査対象にて「特定の拡張子」を選択してください。



以上の設定で現象を回避することが可能です。

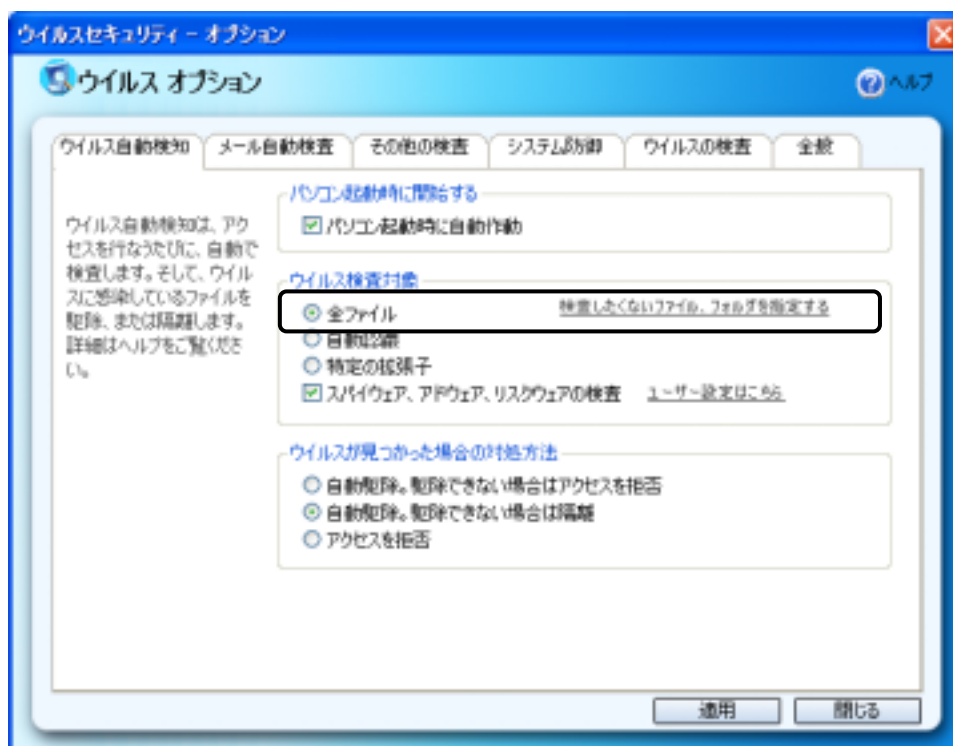
また、[[ユーザ設定はこちら](#)] をクリックし、拡張子の登録を増やすことでセキュリティの強化を計ることもできますが、まずは登録拡張子をデフォルトの状態にして、動作をご確認ください。

上級者向けの設定

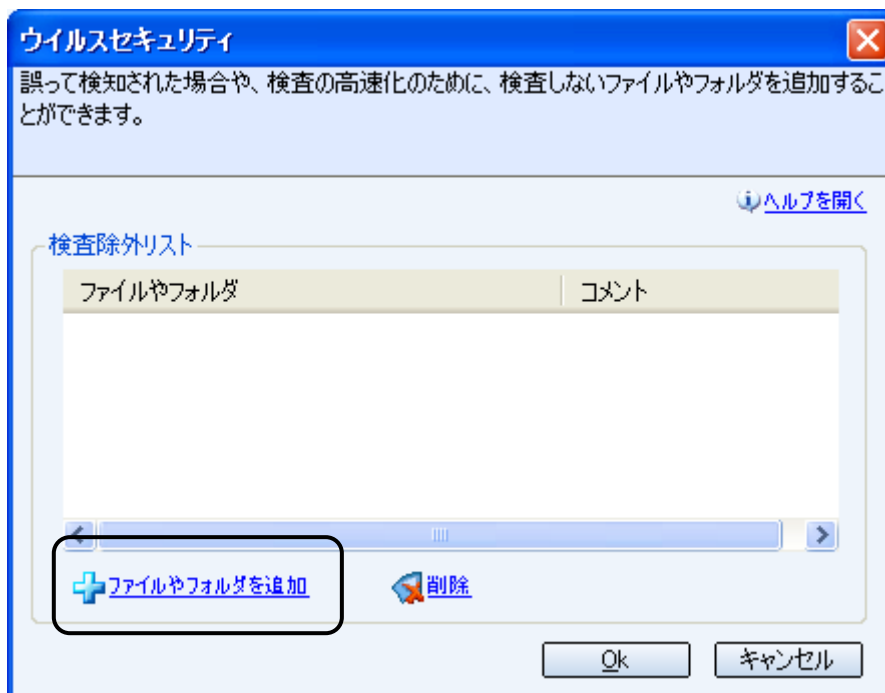
次に記します手順はパソコンに詳しい方のみ実行することをお勧めします。この設定は、前述の設定に比べ、ウイルスセキュリティに搭載されている機能の制限が少なく、設定によるセキュリティの低下を抑えることができます。

以下の設定の前に、必ず前記「特定の拡張子のみを検査対象にする設定」を実行し、『貸貸名人』を一度正常起動させておく必要があります。それをしませんとなぜか下記設定が有効に反映しませんのでご注意ください。

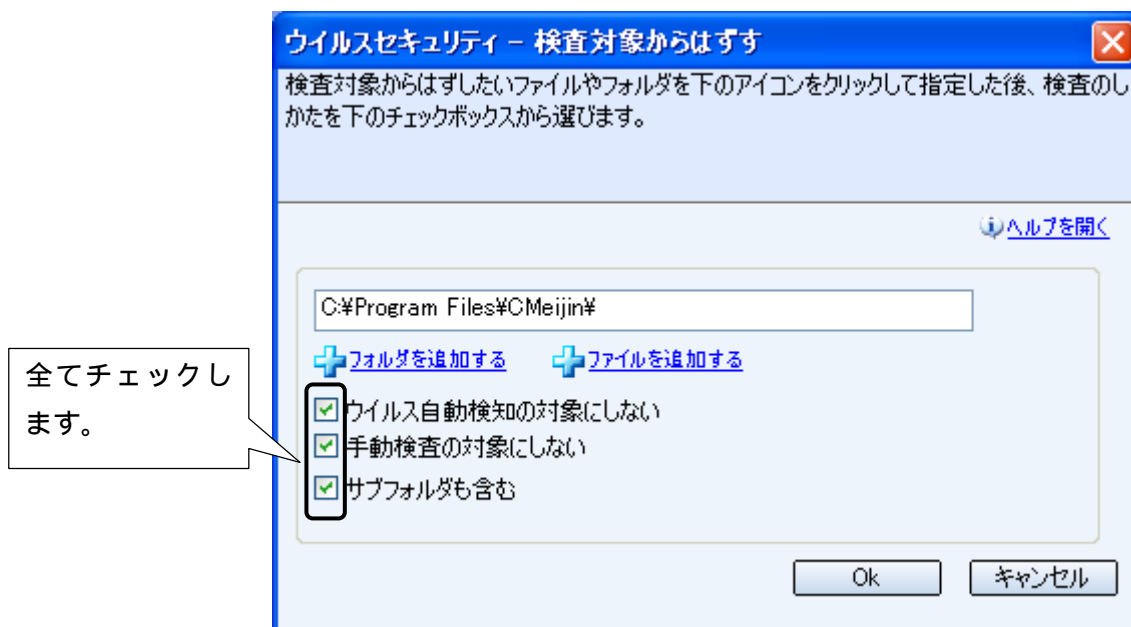
まず、「ウイルス検査対象」を「全ファイル」に戻し、次いで [検査したくないファイル、フォルダを指定する] をクリックします。



次のウィンドウが開きます。[ファイルやフォルダを追加]をクリックしてください。



「ウイルスセキュリティ - 検査対象からはずす」ウィンドウが開きます。
賃貸名人インストールフォルダ「C:\Program Files\CMeijin\」を登録してください。
賃貸名人のインストール先を変更されている場合はそちらを指定します。



同様に Access 2002 Runtime のインストールフォルダ

「C:\Program Files\Microsoft Office\Office10\」を登録してください。

Access 2002 Runtime のインストール先を変えている場合はそちらを指定してください。

また、別途「Microsoft Access」(Access 2003 など) をインストールされている場合、そちらの登録も必要ですのでご注意ください。

検査除外リストに指定したフォルダが追加されます。必ず [OK] ボタンを押し、登録を確定してください。



以上の設定で、パソコンの異常終了を止めることができます。

また、本設定はあくまで現在のバージョンの『ウイルスセキュリティ』にて有効性を確認しております。今後バージョンアップにより状況が変わる可能性がありますので予めご了承ください。